

# 令和7年度 フィールドワーク支援事業

## 府内藩の名産品再興を通じた国東七島藁の 持続可能な活用と伝統産業の活性化

申請者：大分県立芸術文化短期大学 講師 堤 亮介 連携：七島藁工房ななつむぎ 岩切 千佳氏

### 対象地域の課題点（国東市・大分市）

大分県国東半島の特産品である七島藁は、生産者の高齢化や後継者不足により生産量が減少しており、生産・加工技術の継承が喫緊の課題となっている。また、かつて府内藩政下で盛んに生産されていた歴史を有するにもかかわらず、現在の国東市では七島藁に関する文化的記憶や認知がほぼ失われており、地域資源として十分に活用されていない状況にある。

### 【事業目的】

本事業は、国東地域の七島藁生産者と連携し、七島藁の歴史的背景および伝統的な生産・加工技術を学ぶとともに、大分市の歴史文化や先人・橋本五郎左衛門の功績に着目した普及活動および観光商品開発を行うことを目的とする。

併せて、七島藁を地域資源として再評価し、新たな販路開拓を通じて生産者・加工業者の所得向上を図るとともに、大分市における農業文化の保存・継承に資することを旨とする。



写真1 岩切千佳氏と七島藁の田んぼ



写真2 岩切千佳氏の工房「ななつむぎ」

### 【課題解決に資すると考えられる事業】

- 1.七島藁に関する認知調査および活用アイデアの収集
- 2.七島藁の生産・加工現場の実地調査および体験学習
- 3.七島藁の歴史的調査および文化資源としての再評価
- 4.七島藁残渣を活用した循環型商品開発の試行
- 5.七島藁の普及活動

### 【実施事業】

- ・七島藁の認知度調査実施（学内アンケート調査の実施）
- ・七島藁工房「ななつむぎ」訪問（栽培・加工・観光施策）
- ・府内藩近隣の七島藁調査（先哲資料館・現地訪問・聞き取り）
- ・七島藁の知名度向上（文化フェス企画・広報活動）
- ・ストーリー性強化（サンプリング調査とDNA分析）
- ・残渣を用いた商品考案（線香・染物・紙）

## 事業の成果とまとめ



写真2～5 実施した事業の様子

### 【七島藁DNA分析実施中】

橋本五郎左衛門が七島藁を豊後へ伝えたとする民俗伝承について、DNA分析により科学的に検証し、その歴史的信頼性を高めようと、鹿児島大学においてサンプリング調査を実施した。現在、分析結果の報告を待っている段階である。



2025.8.3 TOSニュース



2025.11.22 大分合同新聞 岩切氏・大学インスタ等

### 【まとめ】

本事業では、七島藁を対象に、認知調査、生産・加工現場の調査、歴史的検証、残渣活用の試作を通じて、その文化的・産業的価値の再評価を行った。学生の調査・実践を通じて若年層の認知状況や課題を把握するとともに、七島藁が信仰や地域文化と結びつきながら継承されてきた背景を明らかにした。さらに、文献・伝承・科学的分析を組み合わせることで、七島藁の伝来や活用を裏付ける基盤を整えた。これらの成果は、今後の文化発信や観光・商品開発へと展開するための基礎的知見となるものであり、県助成により進められている「府内祇園会」の復元と組み合わせた活用が、国東七島藁を大分市においても持続的に活用し、地域資源として定着させていく上での鍵を握ると考えられる。今後も、現地の七島藁農家および岩切氏と連携を図りながら、実現に向けて取組みを継続していきたい。

### 【事業の発信】

本事業による取組は、マスメディアやSNS等を通じて積極的に発信し、地域内外への周知を図った。